1－5.31

北海道通信

各企業等の社会貢献

清掃、街頭啓発に汗

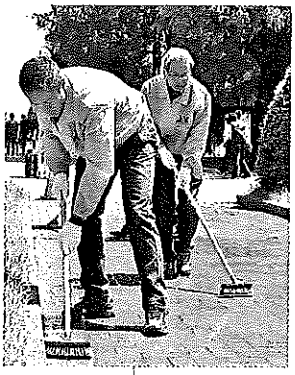
5月30日は札建協の日

会員企業から180人参加

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は〝札建協の日〟の30日、札幌市街地で「クリーンアップ大作戦」を展開した。協会から副会長の坂敏弘氏をはじめ会員企業から53社180人が参加し、道庁赤れんが庁舎の前庭などで清掃活動に汗を流した。

協会では、3年前に開催した協会設立100周年記念式典で創立の日の5月30日を札建協の日と制定。協会が定めた3つの心と5つの行動の行動宣言2016を実践していくため、協会事業として札幌市街地の清掃活動を行っている。

道建設会館で行われた開会式で坂副会長は活動に当たり「行動宣言の地域づくりの心を、札幌市民に示すよう協力してほしい」と会員関係者に呼びかけた。



道庁赤れんが庁舎前庭を清掃した

来賓の札幌中央警察署の岡部修司交通官は、ことし中央署管内で4月に2件の死亡事故が発生したことを踏まえ「観光シーズンが本格化していく中で、協会の活動を通じ一つでも交通事故を防止できれば」と期待を寄せた。

参加者は10班に分かれて、道建設会館周辺と道庁赤れんが庁舎前庭で清掃活動を行った。道庁赤れんが庁舎では、協会員120人が協会創立記念事業で前庭に敷設したれんが舗装に溜まった埃や土をブラシを使って洗い落とした。

清掃終了後は、道建設会館前の交通量の多い北4条通で街頭啓発を行った。協会関係者が交通安全旗を持って、道行く市民や走行するドライバーに交通安全を訴えた。

札幌建協

清掃や街頭啓発

「札建協の日」にちなみ

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は30日、「札建協の日」にちなんで街なかの清掃活動や交通安全街頭啓発を展開した。53社180人が参加し、地域の環境美化や交通安全に向けて行動した。

札幌建協は2016年の創立100周年に合わせて行動宣言2016を公表。この中で、会員の結束力強化と社会貢献を目的に毎年5月30日を「札建協の日」と位置付け、各種活動に取り組んでいる。

開会式で、坂敏弘副会長は札建協の日の経緯を紹介し「市民の方々に、地域づくりの心を通して地域に貢献していることを示してほしい」と呼び掛けた。札幌中央警察署の岡部修司交通官は、観光シーズンを迎え交通事故の多発が心配される中、活動が事故の抑止につながることに感謝した。

赤れんが庁舎前庭のアプローチを清掃した

清掃活動は道庁赤れんが庁舎前庭や北海道建設会館周辺で実施。前庭のアプローチ部分では、協会の創立100周年を記念して小学生が文字や絵を刻んだれんがに水をかけてモップ掛けし、溝にたまった砂利やごみを洗い流した。

その後、北4条西4丁目交差点に集合して交通安全の街頭啓発。「シートベルト着用」「スピードダウン」などと書かれた旗を振って安全運転を呼び掛けた。

1－5.31

北海道建設新聞